

労使議論を無視した、一方的な運転士から車掌への兼務発令反対！ 安全第一で働きがいのある職場を創りだす9・12集会



大宮地本は、「労使議論を無視した、一方的な運転士から車掌への兼務発令反対！安全第一で働きがいのある職場を創りだす9・12集会」を260名の組合員が参加して開催しました。

大宮地本は大地申第2号の36協定の団体交渉にて職場の要員問題を会社と議論してきました。特に車掌職場では実乗務員が標準数を下回る現状であり、今後改善に向けて議論していく事を労使で確認してきました。しかし9月5日、さいたま運転区から支社運輸部に異動した組合員を、わずか2週間で宇都宮車掌区に兼務発令しました。これは形式上では支社から車掌への異動ですが、実態は運転士から車掌への異動であると言わざるを得ません。労使議論を無視した一方的な兼務発令を絶対に許すことは出来ません。

集会では、地本から問題提起を行い、参加者から職場実態について報告がされ、安全を軽視した兼務発令は許せないことを一致することが出来ました。

私たちは、会社が車掌の要員問題を根本的に解決するのではなく、その場しのぎの対策に終始する姿勢を許すことは出来ません。

安全で働きがいのある職場環境を創りだすため、秋のたたかいで「全組合員総対話行動」を貫徹し、そしてスト権議論を深め17春闘のたたかいへとつなげていくことを確認して集会は終了しました。

安全で働きがいのある職場を創りだすため、 全組合員との総対話行動を貫徹しよう！